

## 抗 Cry j 1 モノクローナル抗体 026

### 1. 製品および会社情報

#### 製品情報

製品名 : 抗 Cry j 1 モノクローナル抗体 026

#### 会社情報

会社名 : バイオダイナミクス研究所

住所 : 〒113-0033 東京都文京区本郷 2-9-7

電話番号 : 03-5803-9983

FAX : 03-5684-6270

用途 : 試験研究用途限定

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS 分類

物理化学的危険性 : 分類対象外

その他 : 分類対象外、分類できない、または区分外のいずれか

#### GHS ラベル要素

絵表示 : なし

注意喚起語 : なし

危険有害性情報 : なし

注意書き : なし

結果として分類されないその他の危険有害性 : なし

### 3. 組成および成分情報

単一物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名 : 抗 Cry j 1 モノクローナル抗体

溶媒としてリン酸緩衝生理食塩水 (PBS) を使用。PBS の構成成分: リン酸水素二ナトリウム、リン酸二水素ナトリウム、塩化ナトリウム (安定化剤、防腐剤不含)。

### 4. 応急措置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休憩させること。

皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類をすべて脱ぐ、または取り去ること。

## 抗Cry j1モノクローナル抗体 026

- 皮膚を速やかに、多量の水と石鹼で優しく洗浄すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。
- 飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぐこと。
- 何か症状があるようであれば、速やかに医師の診断を受けること。

### 5. 火災時の措置

消火活動に無関係な全ての人を、火災区域から退避させること。

#### 消火剤

- 小火災 : 二酸化炭素、粉末消火剤、散水
- 大火災 : 散水、噴霧水、泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 特有の危険有害性 : 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
- 特有の消火方法 : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。  
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、適切な呼吸器保護具や化学用保護衣等を着用する。

### 6. 漏出時の措置

できるだけ漏出したものへの接触は避けること。廃棄する場合は、「13. 廃棄上の注意」を参照するとともに、関連する国際法規及び現地の関連法規を参照すること。

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、作業員以外の全ての人の立ち入りを禁止する。  
作業員は適切な保護具（「8. ばく露防止および保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入をさける。  
風上に留まる。  
低地から離れる。
- 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。環境中に放出してはならない。
- 回収・中和 : 固形状のものは、掃き集めて容器に回収する。その際粉塵が飛散しないようにする。液状のものは、少量の場合は砂または不活性吸収材で吸収し、密閉式の容器に回収する。大量の場合は盛土で囲って流出を

## 抗 Cry j1 モノクローナル抗体 026

防止し、安全な場所に導いて回収する。

封じ込めおよび浄化の方法・機材 : 危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策 : すべての発生源を速やかに取除く（近傍での喫煙や花火等の禁止）。

### 7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い : 凍結融解の繰り返しは不可。換気の良い区域で取り扱うこと。必要なら、「8. ばく露防止および保護措置」の項を参考に保護具を着用し、取扱い後はよく手を洗うこと。  
取扱い時は、飲食、喫煙をしないこと。

保管 : 製品等に記載の保存方法を読み、適切に保管すること。

### 8. ばく露防止および保護措置

管理濃度 : データなし

許容濃度（ばく露限界値、生物学的ばく露指標）

許容濃度 : データなし  
[許容濃度等の勧告（2017年版）日本産業衛生学会]

設備対策 : 本製品を使用又は保管する場合は、手洗い、洗顔等の設備を設置し、その場所を表示することが望ましい。

保護具

呼吸器用の保護具 : 換気が不十分な場合は、保護マスク等の適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具 : 必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

眼/顔の保護具 : 必要に応じて、保護眼鏡、保護面等の適切な保護具を着用すること。

皮膚/体の保護具 : 必要に応じて、保護衣、安全靴等の適切な保護具を着用すること。

衛生対策 : この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取り扱い後はよく手を洗うこと。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

### 9. 物理および化学的性質

外観 : 無色澄明の液体

におい : データなし

抗 Cry j 1 モノクローナル抗体 026

pH	: データなし
融点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: データなし
蒸発速度	: データなし
燃焼性	: データなし
燃焼又は爆発範囲の上限・下限	: データなし
蒸気圧	: データなし
蒸気密度	: データなし
比重 (相対密度)	: データなし
溶解度	: データなし
分配係数 ( <i>n</i> -オクタノール/水)	: データなし
自然発火温度	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: データなし

10. 安定性および反応性

安定性	: データなし
化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 燃焼して一酸化炭素や有害なガスを発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	: データなし
皮膚腐食性/刺激性	: データなし
眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: データなし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし

抗 Cry j1 モノクローナル抗体 026

生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
吸引性呼吸器有害性	: データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生物蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし
その他の有害影響	: データなし

13. 廃棄上の注意

下水道、地面、海、湖、河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意すること。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意すること。

残余廃棄物	: 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分に告知の上処理を委託する。
汚染容器および包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号 : なし

## 抗 Cry j 1 モノクローナル抗体 026

品名 : なし  
 国連分類 : 分類されない  
 容器等級 : なし

### 国内規制

陸上規制情報 : 非該当  
 海上規制情報 : 非該当  
 航空規制情報 : 非該当

**特定の安全対策・条件** : 運搬に際して容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
 行い、法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当  
 化審法 : 非該当  
 化学物質排出把握管理促進法 : 非該当  
 毒物及び劇物取締法 : 非該当  
 その他必要なもの  
 消防法 : 非該当

### 16. その他

この安全性データシートは、本物質を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項をまとめたものであり、通常の見取りを対象としたものです。本物質は、この安全性データシートをご参照の上、使用者の責任において適切に取り扱ってください。特殊な取扱いの場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上ご使用ください。ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報や当社所有の知見によるものですが、その内容を保証するものではありません。またこの安全性データシートは、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。